

PAT-NO: JP409210318A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09210318 A

**TITLE: INJECTION GAS DEFLECTING BURNER RING
FOR GAS TABLE**

PUBN-DATE: August 12, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NAKAYAMA, YOSHIO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KK NAKAYOSHI

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP08050703

APPL-DATE: February 1, 1996

INT-CL (IPC): F23D014/06

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To alter the gas injecting direction so as to inject gas from the front surface in the state near perpendicular direction and to

enhance the combustion efficiency by providing a guide wall for directing the jet gas toward the inside of the front surface at the inside of a ring, and providing a gas conducting hole and a cutout for operating a temperature sensor and an ignition plug.

SOLUTION: The injection gas deflecting burner ring for a gas table forms a guide wall 2 for altering to inject gas to the inside of an incombustible ring

1. A half-burn sensing temperature sensor D is provided at the part of its outside, and a cutout 4 is provided at the part corresponding to an ignition plug E, and further a gas conducting hole 5 is opened at the same position.

When it is disposed along the side of a burner cap A, the gas injecting direction is altered to the front surface, becoming the state near perpendicular direction, combustion flame is concentrated near the center of the bottom of a pot to remarkably improve the thermal efficiency, thereby making it possible to reduce the cooking time and gas dissipation as well.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-210318

(43) 公開日 平成9年(1997)8月12日

(51) Int.Cl.⁶

F 2 3 D 14/06

識別記号

庁内整理番号

F I

F 2 3 D 14/06

技術表示箇所

Z

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平8-50703

(22) 出願日 平成8年(1996)2月1日

(71) 出願人 593174009

有限会社ナカヨシ

埼玉県岩槻市大字浮谷2493番地2

(72) 発明者 中山 芳夫

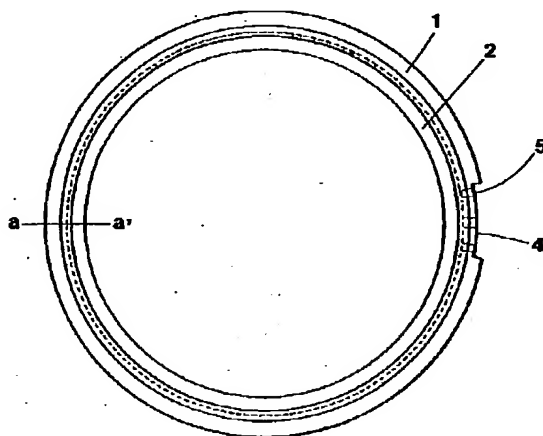
埼玉県岩槻市大字浮谷2493番地2

(54) 【発明の名称】 ガステーブル用噴出ガス偏向バーナーリング

(57) 【要約】

【目 的】従来のバーナーキャップAの側面に添って装置することで、ガスの噴出方向が正面に変わり、垂直に近い状態になり、結果、燃焼炎を鍋などの底の中央近くに当たるようにして燃焼効果を高めるようにした。

【構 成】リング1の内側に噴出ガスを正面内側に向けるためのガイド壁2を設け温度センサーDと、点火プラグEに働きかけるためのガス導通穴5と切り込み部4 (温度センサーDと点火プラグEがバーナーキャップAの外径より内側に位置する場合は、切り込み部4とガス導通穴5は設けない) を作ったことを特徴とする。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】リング1の内側に噴出ガスを正面内側に向けるためのガイド壁2を設け温度センサーDと、点火プラグEに働きかけるためのガス導通穴5と切込み部4を設ける。以上のごとく構成されたガステーブル用噴出ガス偏向バーナーリング。

【発明の詳細な説明】

この発明は、ガステーブルにあるバーナーキャップAの側面に位置するガス噴出口に、ガスが垂直に近い状態に正面より噴出されるよう、ガスの噴出方向を変え、燃焼効率を高めるために発明されたガス偏向バーナーリングに関するものである。従来のバーナーキャップAは、ガスが多量に噴出される口が側面に位置し、鍋などの底に対し平行に近い状態で造られていて燃焼炎が鍋などの底の外側に近い位置に当たるため熱効率が悪いばかりか、無駄な時間とガスが消費されていた（図7参照）。本発明は、その欠点を除くために発明されたものでこれを図面について説明すれば、不燃性のリング1の内側にガスの噴出方向を正面より噴出するように変えるためのガイド壁2を作り、その外側の一部に立消え感知温度センサーDと、点火プラグEに該当する部分に切り込み部4を設け、さらに同位置にガス導通穴5を開ける（温度センサーDと点火プラグEがバーナーキャップAの外径より内側に位置する場合は、切り込み部4及びガス導通穴5は設けなくてよい）。尚、実施例として

（イ）側面のガス噴出口をふさぎ正面よりガスが噴出されるよう一体で造られたもの。

2

（ロ）バーナー本体Bに台座部Cが無く、バーナーキャップAとストレートに造られている場合のリング1に爪を設けたもの（図4・5参照）。

このようにし、これをバーナーキャップAの側面に添ってあてはめ装置することで、ガスの噴出方向が正面に変わり、垂直に近い状態になり、燃焼炎が鍋などの底の中央近くに集中し熱効率を著しく高められ、調理時間、及び、ガスの消費も軽減できるものである（図6参照）。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の正面図である。

【図 2】本発明のa-a'の拡大断面図である。

【図 3】本発明を装置し、一部を切り欠いた断面図である。

【図 4】本発明の実施例を示す正面図である。

【図 5】本発明の実施例にあるb-b'の拡大断面図である。

【図 6】本発明の目視燃焼炎図である（ごとく省略）。

【図 7】従来の目視燃焼炎図である（ごとく省略）。

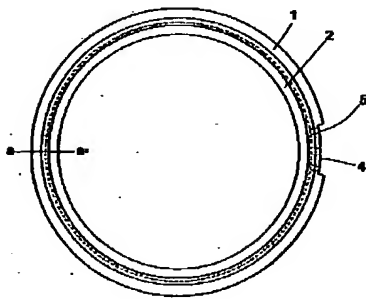
【符号の説明】

1 リング 2 ガイド壁 3 噴出口 4 切り込み部 5 ガス導通穴

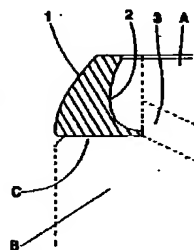
6 爪 A バーナーキャップ B バーナー本体 C 台座部 D 温度センサー

E 点火プラグ a-a' 拡大断面図 b-b' 拡大断面図

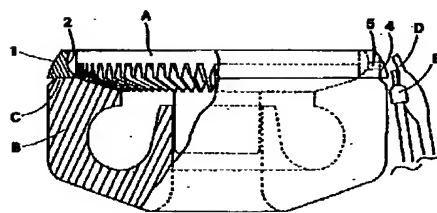
【図1】



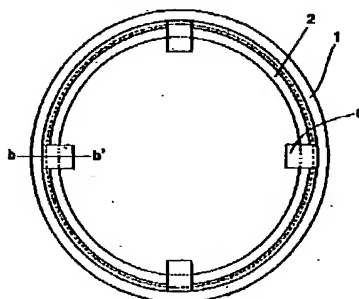
【図2】



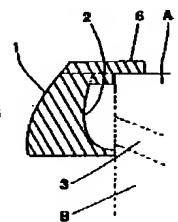
【図3】



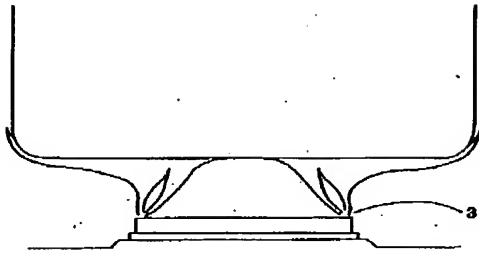
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

